



日本共産党 京都市会議員
ひぐち英明
議会報告

左京北部・中山間地のみなさん ご意見・ご要望をお寄せください!

こんにちは ひぐち英明です

第420号③ 2022年7月31日 連絡先: 日本共産党京都市会議員団 Tel222-3728
: 日本共産党左京地区委員会 Tel761-6341

HP:

仕事・いのち・くらしに希望を

仕事

京都経済を成長させる ～カギは中小業者への支援の充実～



議会論戦以外でも、市長に対して、
中小業者支援の提案を繰り返し行う

元気になることこそ、京都経済の成長のカギ」との信念をも
って論戦し、対策の充実を求めてきました。

中小業者への各種の支援制度を実現

大企業の支援策である大型公共事業(北陸新幹線や堀川地下バイパスなど)に固執する市長の姿勢を徹底的に批判。中小業者の支援や労働者の賃上げこそ必要と求める中で、耐震リフォーム助成制度や水道光熱費などの固定費も含めた補助制度などを創設させたほか、業界団体への賃上げ要請を市に行わせる、などの成果をあげてきています。

建築職人の労働組合(京建労)で働いた経験から、「地元中小業者が

身近で役立つ市会議員

くらし

子どもの医療費助成や少人数学級が少しずつ前進

京都市は府内で唯一、3歳になったら医療費が有料という、子育て支援が極端に遅れている自治体。粘り強い運動と、議会論戦の中で、少しずつ改善が図られ、入院は中学校卒業まで無料、通院は月の上限額を1,500円にさせることができました。さらなる拡充(少なくとも中学校卒業までの無料化)が必要です。

また、少人数学級を求めて論戦を続けてきましたが、国が小学校の35人学級をやっと決断(2021年度から5年かけて6年生まで拡大)。市独自の前倒しを求めています。

地域のさまざま要望に応えるために東奔西走



↑大原井出町。通学路の安全対策が求められている。

↑2018年の台風では、左京各地で倒木被害が多発。撤去費用の助成や倒木の未然防止対策などを充実させた。

花背八柳町で、道路への崩土対策が行われた。→



いのち

災害やコロナから市民のいのちを守る



まずは災害現場を視察

況の把握、そして行政の対策の充実を求めてきています。

この間、倒木対策の充実、被災者住宅の再建支援制度や、災害時の避難所への市職員の常駐などを実現させてきました。

PCR検査の充実・医療機関への支援を実現

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に関しては、議会で求めるだけでなく、20回以上にわたる市長への要請を行うなかで、PCR検査の拡大や、医療機関への補助の充実などを実現させてきました。

倒木対策の充実や避難所への市職員の常駐を実現

最近では、記録的な豪雨や台風による災害が毎年のように発生しています。まずは現場に駆け付け状

市長の「財政破たん」論のウソを暴き

財政

くらし支援と財政再建を両立させる政策提案

市長が言う「10年以内に財政が破たんする」という話は、根拠のないデタラメであることを、議会で徹底的に論証・追及してきました。「破たん」論は、今後の大型事業推進のための財源をつくるために、今から、様々な負担を市民に押し付けようというものです。

ムダな大型事業の典型である北陸新幹線は、国家プロジェクト。つまり、なんでも国言いなりの市長の政治姿勢が、市民を苦しめる元凶です。この姿勢を転換させることで、くらしの支援と財政再建を両立することができます。

市庁舎の地下通路13億円に反対したのも共産党のみ

市庁舎建設での13億円の地下通路やその他のムダな経費を議会で指摘し、反対したのは、共産党議員だけです。維新や京都党も含め、他のすべての政党・議員は賛成しています。

ひぐち英明のプロフィール:1969年生まれ(53歳)。京都工芸繊維大学大学院修了(日本建築史専攻)。市会議員5期。全京都建築労働組合専従書記、左京区保育園保護者会連合会副会長、上高野学童保護者会長、修学院中学校PTA副会長、原水爆禁止左京区協議会事務局長などを歴任。家族は妻と3人の子ども。